

2025 年 11 月 3 日 発行

第 10 号

工務部会 こうむ NEWS

J R 東労組(東日本旅客鉄道労働組合)

工 務 部 会

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-24-1

代々木総合事務所 5 階

NTT 03-5315-0941 JR 058-4112

発行人 杉本博輝 発行 編集委員会

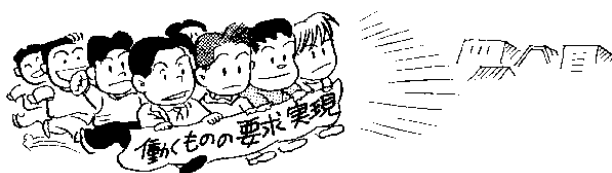
2025 年度 年末手当 満額勝ち取ろう！(ver. 2)

これが現場で働く私たちの声だ！！

【労働実感(その2)】

業務過多

- ・プロジェクト活動が多く、本来業務が出来ない、単純にやることが増えた
- ・様々な勉強会などの出張も増えており、業務研究なども忙しい
- ・対面・Web 問わず会議が非常に多く、スケジューラーの空白がないほどに予定が詰まっている。自分のペースで予定を組み業務を進めたくても、それができない。グループ内の他の人をお願いしたくても、人がいないからそれもできない
- ・検査業務が直轄化し、またモニタリング業務が増えたことにより夜間作業での業務が増えた
- ・今までとシステムや業務体制の変化により、整理に追われている
- ・電車線モニタリング導入により至近距離検査から近接検査に置き換わったことから要員削減されたものの、緊急点検などの波動業務が増えている
- ・多頻度モニタリング検査が始まって2年目と言うことでより検査の質とスピードを求められていることから、他の仕事もあるなかでの業務であるのと若手社員が増えたことで訓練や教育で不在になることが多いので負担が中堅以上に行っている。また、職場内教育の質も重要になっている
- ・樹木の伐採や蔓草の除去が業務の3割占めている
- ・伐採業務が昨年より倍以上増え、昼間作業に追われて所内業務が締切に間に合わなかった
超勤で日業業務をしないと仕事が回せない日が多くなってきた
- ・施策による業務体制の見直しにより、今まで分けていた業務が一体化し一貫型となった。検査から工事までを1人の担当者が担うようになり、先輩・後輩関係なく初めて担う業務もあり、OJTなどで教え合いながら進めていくなかで、一人ひとりの業務量は増えた
- ・組織改変による支社業務が加わったが、人員が変わらず、逆に減少しているため、一人当たりの業務量が増加しているので、疲弊していて地獄だ
- ・本社からの指摘逃れのための過剰な資料作成と辻褄合わせ
- ・異動したこともあるが、細かい調査物や報告物が多く、常に資料作成と集計に追われている
- ・対策や調査など緊急にあるから
- ・コストダウンを目標にした業務改善が増えている
- ・処理件数の増加(異動や担務変更、新入社員対応などにより業務量が増えた)
- ・単純に業務が多い、超勤時間の増加
- ・仕事に余裕が無い



安全で安心して働ける職場を未来に
残すためにも J R 東労組に結集しよう！！